

2025年度第2四半期累計 決算説明資料

2025年8月5日（火）

第2四半期累計（上半期）の実績

- 売上、利益とも前年比で減少、ただし利益は計画通りの進捗
- 他市場は想定通りも北米トラクタ市場が縮小、ただし6月以降減少幅が和らぎ始める

今期の業績予想

- 売上、利益とも前年比、計画比で減少
- 営業利益は減販に加え、為替変動や関税影響が残り減益

北米事業見通しとクボタの対応状況

- 北米事業の将来性
- 事業構造改革の推進

実績

2025年度第2四半期累計 連結決算概要

(億円)	2025年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	増減		(期初予想)
			金額	%	
売上高	14,549	15,796	▲ 1,247	▲ 7.9	15,200
国内	3,323	3,057	+ 266	+ 8.7	3,310
海外	11,226	12,739	▲ 1,513	▲ 11.9	11,890
北米機械	5,605	6,872	▲ 1,267	▲ 18.4	6,009
営業利益	9.8% 1,430	13.1% 2,073	▲ 643	▲ 31.0	9.2% 1,400
税引前利益	10.4% 1,515	13.7% 2,167	▲ 653	▲ 30.1	9.8% 1,490
親会社の所有者に帰属する 純利益	6.4% 925	9.5% 1,508	▲ 583	▲ 38.7	6.4% 980
米ドル 平均レート(円)	149	152			145
ユーロ 平均レート(円)	162	165			152
バーツ 平均レート(円)	4.43	4.21			4.20

為替影響を除いた売上高の増減は▲1,010億円、営業利益の増減は▲477億円



機械 12,674億円（前年比▲1,361）

各市場の状況

日本

農機市場は米価上昇に伴い拡大基調。需要の急拡大に対し遅れなく製品を供給。

北米

建機市場はインフラ関係、住宅関係とも安定的に推移。トラクタ市場は景況感の減速によりレジデンシャルが低迷、農用は農作物価格下落に伴い減速するも中型トラクタの新機種導入によりシェアアップ。在庫管理は徹底。

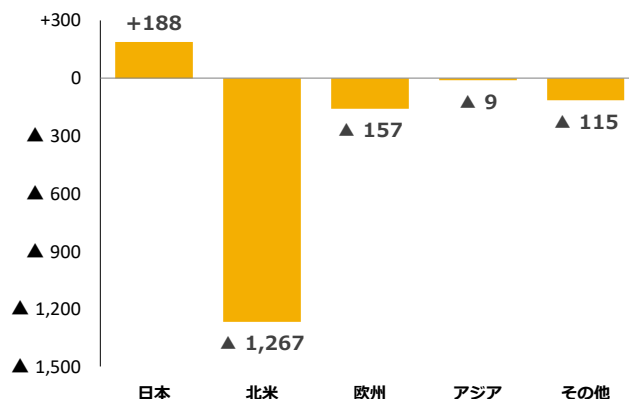
欧州

建機市場は底を打ち始め、一部の国では回復。トラクタも先行きの景況感に回復の兆しが見え始める。

アジア

タイは畑作市場が縮小も、新機種の導入により最小限に留める。インドは十分な降雨と収穫量により好調。

■ 機械仕向地別売上高増減（億円）



当期売上高	1,741	5,605	1,664	3,294	370
前年比	↑↑	↓↓	↓↓	↑	↓↓
トラクタ	↑↑	↓↓	↓↓	↑	↓↓
作業機	↓	↓↓	↓	↓	↓↓
建機	↓	↓↓	↓	↓	↓↓

↑/↓：10%未満、↑↑/↓↓：10%以上の増減を表しています



水・環境 1,796億円（前年比+120）

各市場の状況

パイプシステム

鉄管は管路耐震化需要が増加しており受注は堅調。合成管はインフラ関係は堅調も住宅関係が減少。

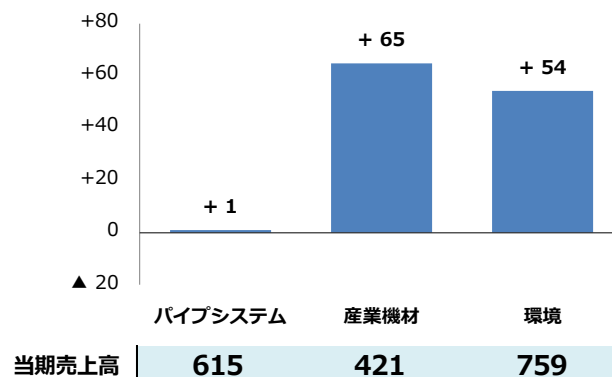
産業機材

反応管は海外プラント新設需要は安定。空調は国内工場回帰の動きや暑熱対策により受注は順調。

環境

プラント・ポンプは前年並みを維持するが資材不足による工事遅延が慢性化。排水処理は国内工場向けが好調。

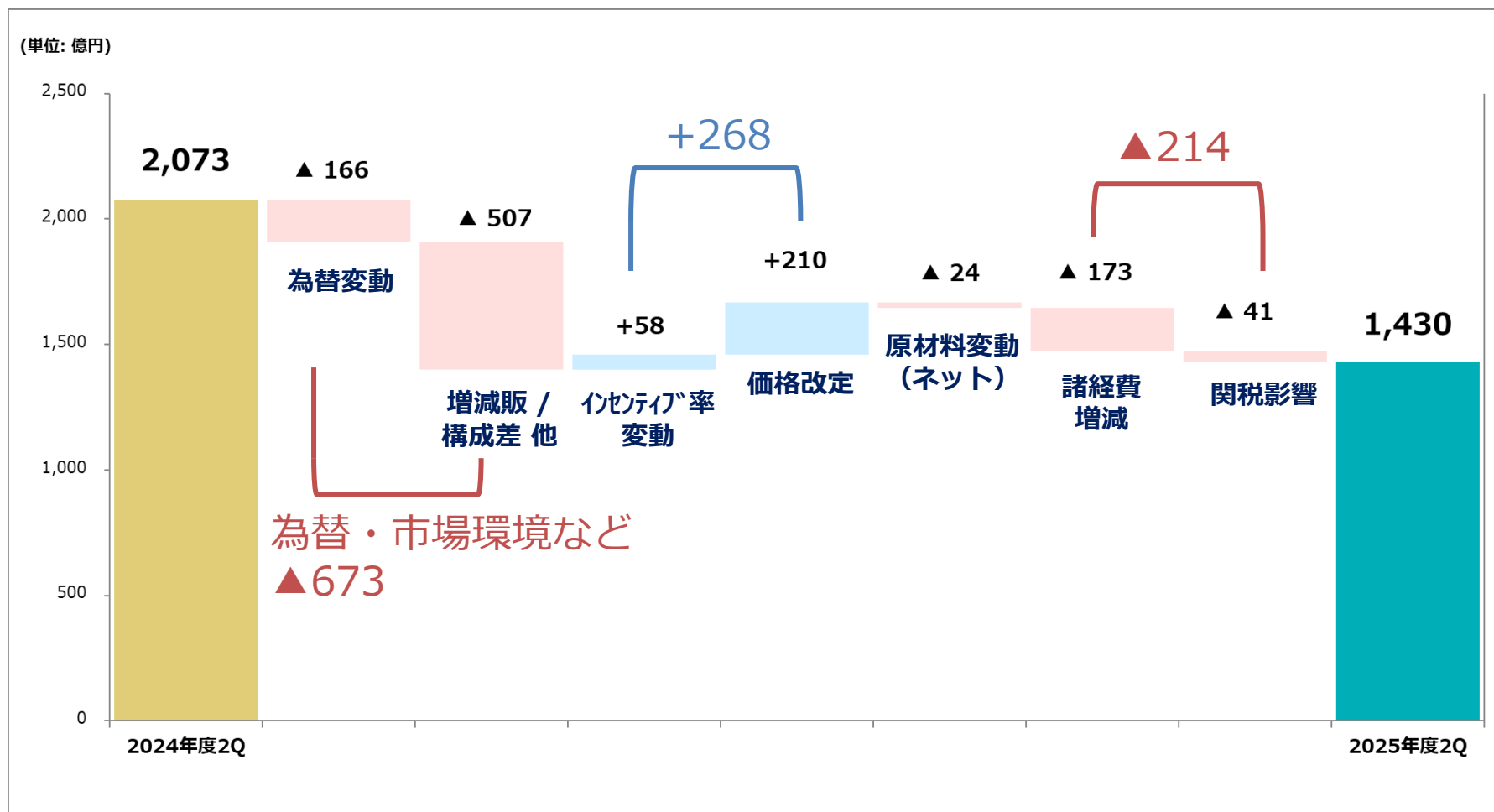
■ 水・環境事業別売上高増減（億円）



その他 80億円（前年比▲6）

物流など各種サービス事業より構成。

営業利益（▲643億円）の増減要因



業績予想

2025年度業績予想

(億円)	2025年度 (予想)	2024年度 (実績)	増減		2025年度 (期初予想)
			金額	%	
売上高	28,800	30,163	▲ 1,363	▲ 4.5	30,500
国内	6,500	6,325	+ 175	+ 2.8	6,580
海外	22,300	23,838	▲ 1,538	▲ 6.5	23,920
北米機械	11,110	12,536	▲ 1,426	▲ 11.4	12,379
営業利益	7.6% 2,200	10.5% 3,156	▲ 956	▲ 30.3	9.2% 2,800
税引前利益	8.2% 2,360	11.1% 3,353	▲ 993	▲ 29.6	9.7% 2,970
親会社の所有者に帰属する 純利益	4.9% 1,420	7.6% 2,304	▲ 884	▲ 38.4	6.4% 1,960

米ドル 平均レート(円)	145	152
ユーロ 平均レート(円)	161	164
バーツ 平均レート(円)	4.32	4.30

145
152
4.20

為替影響を除いた売上高の増減は▲410億円、営業利益の増減は▲671億円



機械 24,850億円（前年比▲1,519）

建機後半
市場トレンド

農機後半
市場トレンド



各市場の状況

日本



農機市場は米価改善が続き底堅い。建機市場はインフラ需要は底堅く前年並み。引き続き需要に即した製品供給に注力する。

北米



建機市場はインフラ、住宅需要とも安定。CTLのモデルチェンジ機を投入しシェアアップを図る。トラクタ市場は関税の見通しも定まり、レジデンシャル、農用とも安定に向かい下げ止まる。

欧州



建機市場は回復がより鮮明になる。トラクタ市場も景況感の改善と共に底を打つ。

アジア



タイは畑作市場は洪水影響からの回復により来シーズンに向けた需要と新機種種の拡販が期待できる。インドは十分な降雨量と政府買取保証などのサポートもあり堅調な市場を想定。新機種種の拡販に取り組む。



水・環境 3,800億円（前年比+174）

市場トレンド

各市場の状況（大きな変更なし）

パイプ
システム



鉄管は管路耐震化需要が増加しており受注は堅調。合成管はインフラ関係は堅調も住宅関係が減少。

産業機材



反応管は海外プラント新設需要は安定。空調は国内工場回帰の動きや暑熱対策により受注は順調。

環境



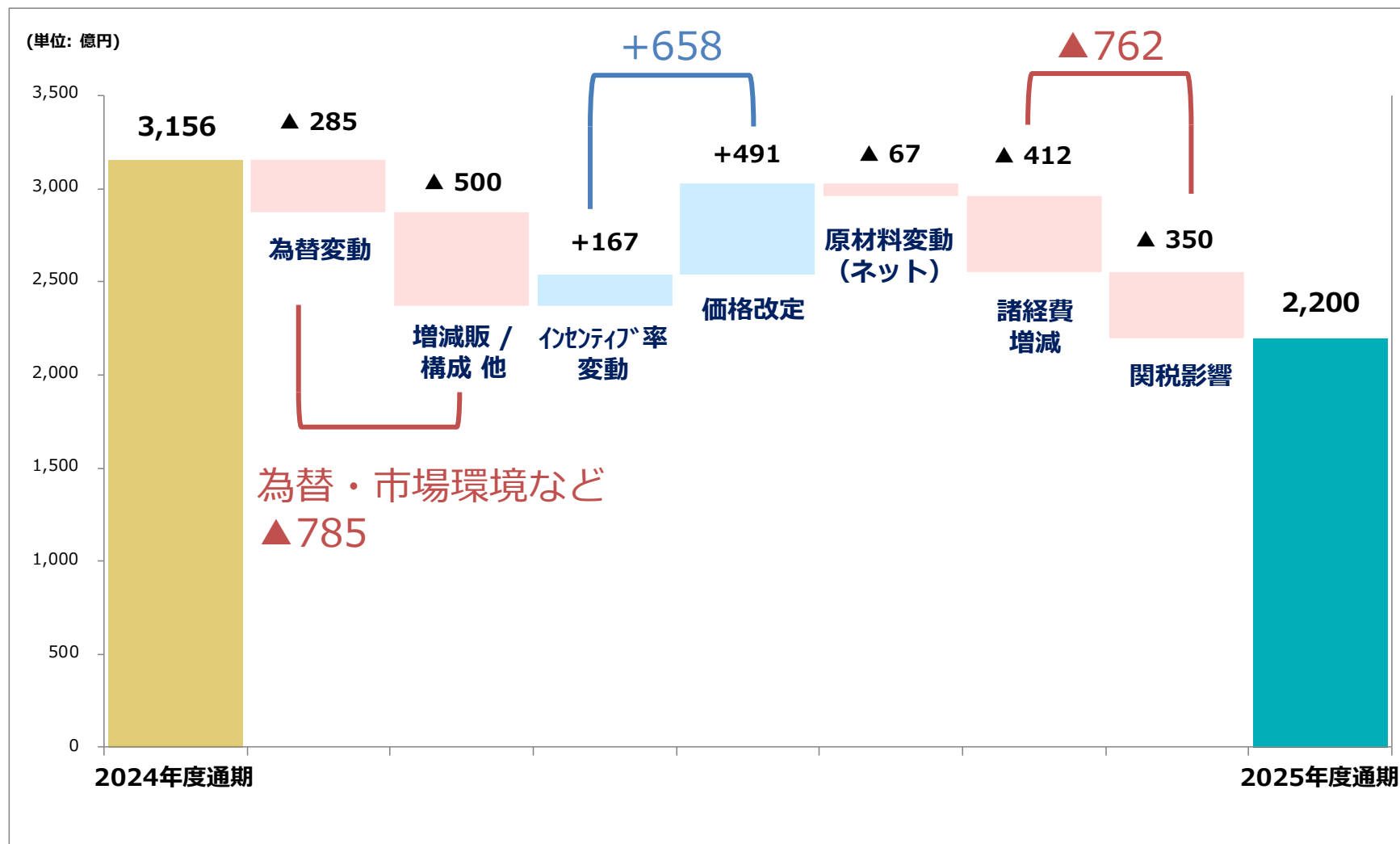
国土強靱化計画によりプラント・ポンプは安定した需要が見込める。資材不足による工事遅延が慢性化。排水処理は国内工場向けが堅調。



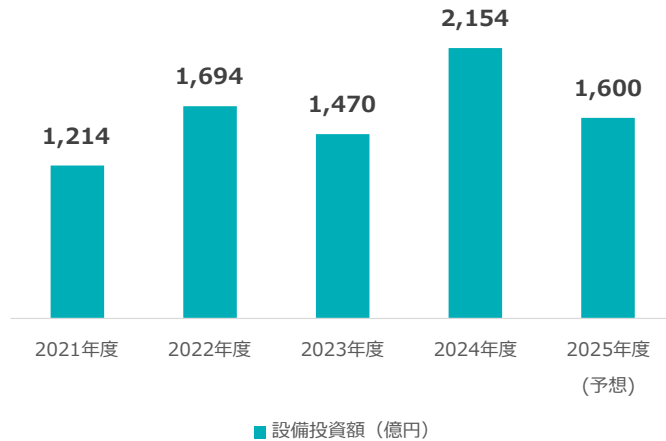
その他 150億円（前年比▲18）

物流など各種サービス事業より構成。

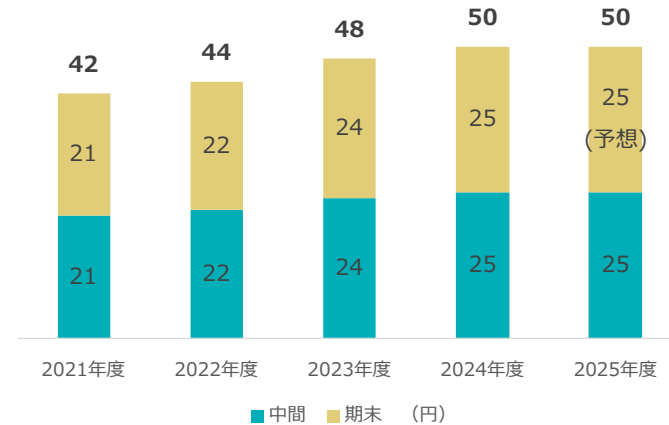
営業利益（▲956億円）の増減要因



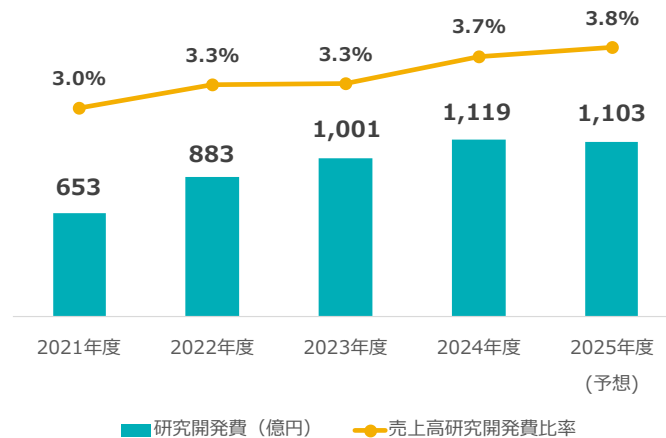
■ 設備投資



■ 1株当たり配当



■ 研究開発費



北米事業概況

北米市場の今期の見通し

- 上半期の市場は追加関税影響による景気後退への懸念から“一時的に” 縮小
- 足元は想定以上に堅調

短期的な対応

- 保守的な市場見立てに即した厳格な在庫コントロール
- 今年の関税コストはインセンティブ見直しや固定費削減による自助努力で対応
今後必要に応じインセンティブ見直しや柔軟な価格政策により、来年以降のコストアップもカバーして行く

北米事業運営の中期的な対応の考え方

＜成長事業・強い事業に経営資源を投入＞

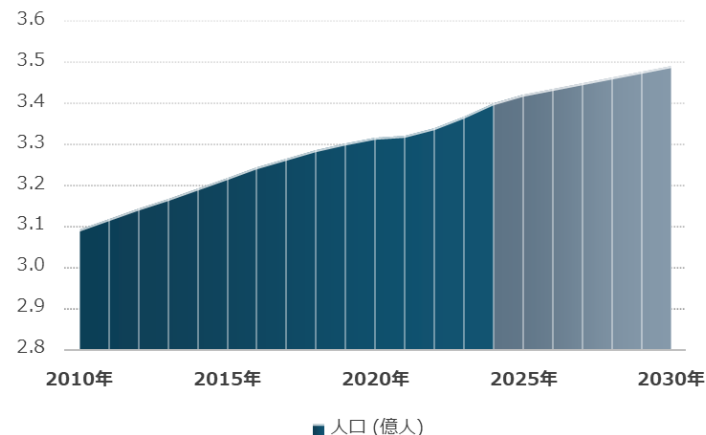
建機事業

- 人口増加に伴う住宅需要、インフラ工事に支えられ、今後も市場は拡大継続
- 建機に対する社内リソースの割当を強化し、新製品導入の加速化、生産能力増強を図る

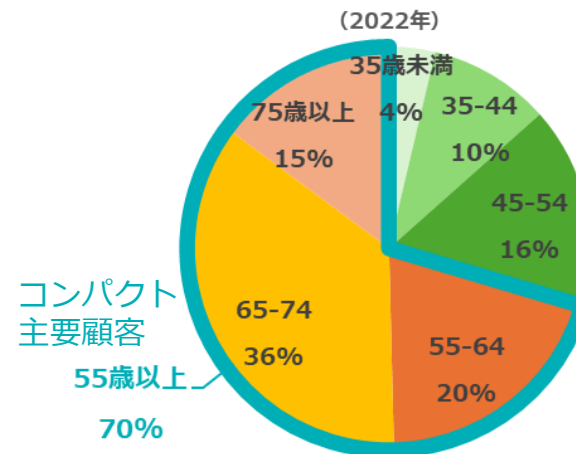
トラクタ事業

- 競合が少なく、成長に期待が持てる収益性の高い中型トラクタ（40-100馬力）で事業拡大を加速
- コンパクトトラクタ市場は人口増加を背景に今後はコロナ前の水準をベースに緩やかな成長を辿るが、新興勢力参入による競争激化の中、クボタは短期的には安易な量の拡大を追い求めず、アッパーミドル層をターゲットに収益性確保を維持しながら、“基盤事業”としての対応を推進

米国の人口推移



年齢別金融資産所有者



出典：Federal Reserve Board

事業構造改革の推進

■ 製品競争力の強化

- 成長が期待される分野（建機、中型トラクタ）への社内リソース強化
- 競争が厳しいコンパクトトラクタ市場に対しては、インド拠点の競争力をフル活用したGIT(Global Innovative Tractor)プロジェクトを通して、プラットフォーム化を推進し競争力の早期底上げを図る

■ サプライチェーンの見直し

- 為替、関税、労働力、サプライヤーの強さ等を総合的に判断して、最適地生産、最適調達、工場新鋭化を推進する

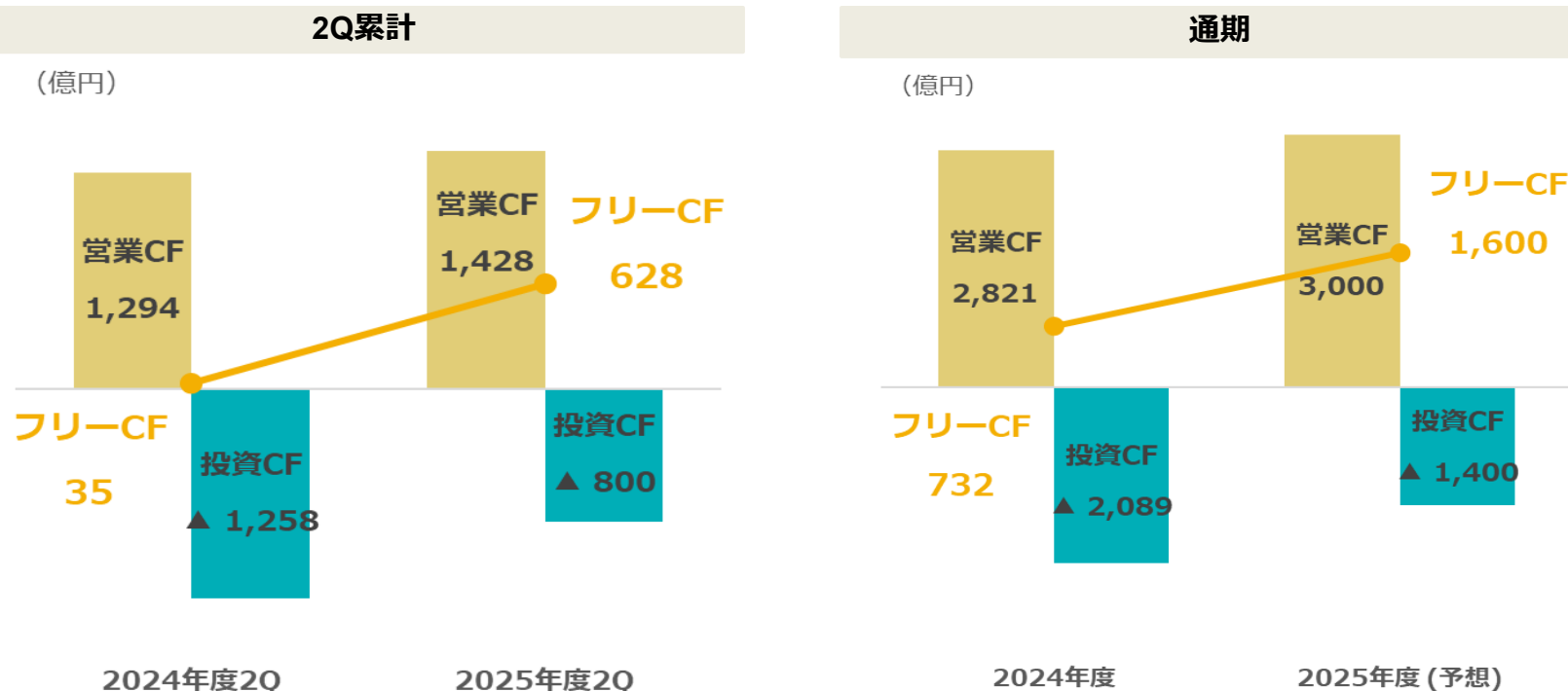
ジョージアの新工場



■ 資本効率重視経営への変革

- 全ての市場・製品でシェア、量を拡大することはない
- 小売金融に極端に依存しない販売体制（0%ファイナンスの見直し）、在庫削減への大胆な取り組みを推進することで、資本効率を改善し、利益以上のキャッシュフロー創出を目指す

全社フリーキャッシュフローの状況



当期純利益は減少するも、金融債権の圧縮、
運転資金の改善でフリーキャッシュフローは順調に増加

For Earth, For Life

Kubota

(補足) 財政状態計算書

(億円)		2025年度 2Q末	2024年度 期末	増減	為替影響 を除く増減
	現金及び現金同等物	2,009	2,951	▲ 943	
	営業債権	9,464	9,852	▲ 388	+ 92
	金融債権	20,390	21,925	▲ 1,535	+ 16
	棚卸資産	6,718	6,923	▲ 205	+ 97
	その他	18,075	18,535	▲ 460	
資産合計		56,655	60,187	▲ 3,531	
	有利子負債	20,838	22,781	▲ 1,943	▲ 700
	営業債務	2,559	2,747	▲ 189	
	その他	6,730	7,261	▲ 531	
	負債合計	30,126	32,789	▲ 2,663	
	親会社の所有者に帰属する持分	24,004	24,773	▲ 769	
	非支配持分	2,525	2,625	▲ 100	
資本合計		26,529	27,398	▲ 869	
負債及び資本合計		56,655	60,187	▲ 3,531	

(補足) 小売金融の状況 (管理ベース)

財政状態計算書

(億円)	2025年度 2Q末		2024年度 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	23,590	33,065	25,697	34,490
現金及び現金同等物	474	1,534	275	2,676
営業債権	298	9,166	273	9,579
金融債権	20,390	-	21,925	-
棚卸資産	-	6,718	-	6,923
有形固定資産	186	8,310	207	8,412
その他	2,243	7,337	3,017	6,900
負債合計	19,346	10,781	21,258	11,531
有利子負債	18,188	2,650	20,067	2,714
その他	1,157	8,131	1,191	8,817
資本合計	4,245	22,284	4,439	22,959

小売金融債権遅延率

(億円)	2025年度 2Q末	2024年度 期末	増減	
	金額	金額	金額	%
債権残高	20,725	22,243	▲ 1,518	▲ 6.8
内90日以上遅延	247	187	+ 61	+ 32.4
遅延率	1.2%	0.8%	-	+ 0.4P

(補足) 事業セグメント別営業利益実績・予想

(億円)		2025年度 2Q累計	前年同期比	2025年度 (予想)	前年比
機械	売上高	12,674	▲ 1,361	24,850	▲ 1,519
	セグメント利益	1,483	▲ 566	2,380	▲ 854
	利益率	11.7%	▲ 2.9P	9.6%	▲ 2.7P
水・環境	売上高	1,796	+ 120	3,800	+ 174
	セグメント利益	192	+ 84	330	+ 87
	利益率	10.7%	+4.3P	8.7%	+2.0P
その他	売上高	80	▲ 6	150	▲ 18
	セグメント利益	6	▲ 4	10	+ 0
	利益率	7.4%	▲ 3.8P	6.7%	+0.9P
調整※	セグメント利益	▲ 250	▲ 158	▲ 520	▲ 190
計	売上高	14,549	▲ 1,247	28,800	▲ 1,363
	営業利益	1,430	▲ 643	2,200	▲ 956
	利益率	9.8%	▲ 3.3P	7.6%	▲ 2.8P

※「調整」には親会社での管理部門の費用や基礎研究費、為替差損益が含まれています。

2025年1月1日付の機構改革に伴い、従来「調整」に含めていた一部の費用を各事業セグメントに含めたため、2024年度のセグメント利益を組み替えて表示しております。

■ トラクタ市場台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
2024年	0-40馬力	▲ 17.0%	▲ 12.0%	▲ 19.4%	▲ 7.6%	▲ 14.0%
	40-120馬力	▲ 8.4%	▲ 9.8%	▲ 12.3%	▲ 11.5%	▲ 10.6%
	120-160馬力	▲ 2.6%	+ 29.1%	▲ 6.8%	▲ 25.8%	▲ 2.5%
2025年	0-40馬力	▲ 14.0%	▲ 5.6%	-	-	-
	40-120馬力	▲ 13.1%	▲ 5.7%	-	-	-
	120-160馬力	▲ 28.2%	▲ 32.5%	-	-	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 0-6tバックホー市場台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
2024年	▲ 14.2%	▲ 13.7%	▲ 16.9%	+ 1.7%	▲ 10.5%
2025年	▲ 6.6%	+ 4.5%	-	-	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ コンパクトトラックローダ市場台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
2024年	▲ 6.9%	+ 6.4%	▲ 6.0%	+ 9.6%	+ 1.5%
2025年	▲ 4.3%	+ 9.3%	-	-	-

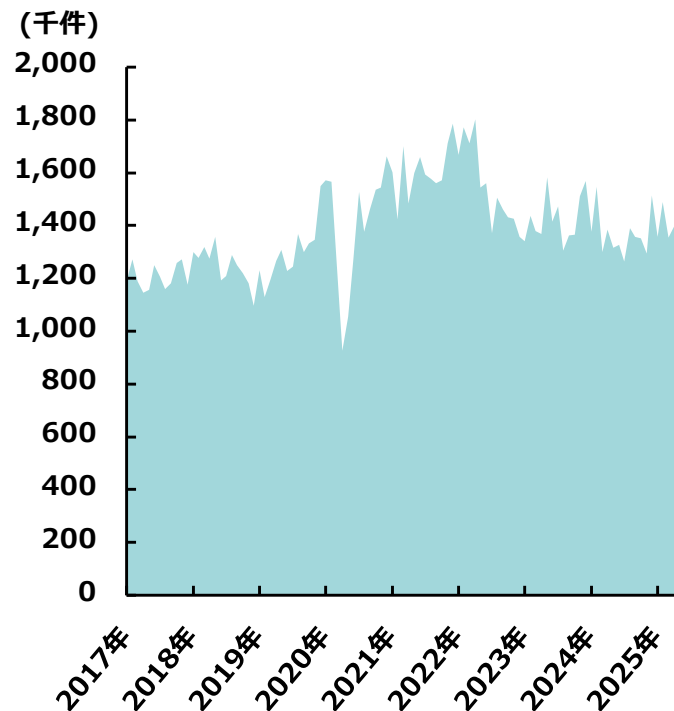
出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ スキッドステアローダ市場台数伸長率（前年同期比）

	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	年間
2024年	+ 3.0%	▲ 12.1%	▲ 12.3%	▲ 7.2%	▲ 7.7%
2025年	▲ 1.6%	▲ 1.2%	-	-	-

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
